

平成 29 年度 県立水戸高等特別支援学校 学校関係者評価表

評 価 項 目	評 価(人)		評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	A	1	- 生徒、保護者に対する満足度アンケートが少し下がったということでしたが、重点目標に対して様々な取り組みがあり、前年に比べて相対的に何か劣っているということではないと思います。 - 自己評価を達成状況に合わせて、さらに分析してほしい。 - アンケートの数値目標が未達成でもよい項目あり。すべてが 100 点ではなくても良い。 - 学校評価アンケートの結果、生徒・保護者ともに良い結果でしたので、次年度も継続していただきたいと思います。
	B	4	
	C		
	D		
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	A	2	- 就労支援への取り組みは、数値目標もほぼクリアしており、高く評価ができると思います。特に、卒業後も継続した支援がありありがたく思います。 - 妥当な評価がなされている。 - 目標に対しての評価はまずまずですが、生徒一人一人個人差があると思いますので、担任の先生に自己評価をもっと伸ばしてあげてほしいです。
	B	3	
	C		
	D		
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	A	3	- 課題の把握や目標の設定など、目標達成のための具体的な取り組みができていると思います。 - 寄宿舎の取り組みは、将来を見据えたもので素晴らしいと思います。 - 課題に対して、具体的なアクションを表すと良い。 - 校務の効率化のためには、予定を減らすことが必要。 - 生徒一人一人の悩みなどを、細かく把握しかかわってもらいたい。 - 全体的には、かなり細かく課題を把握していると思います。 - 刻一刻と状況が変わる中、教育現場も変化をしなければならず大変かと思いますが、より良い学校へと進化していくことを期待しています。
	B	2	
	C		
	D		
4. 学校の改善方策への対応は適切か	A	2	- 家庭との連携が課題として挙がっており、改善が必要な点かと思います。寄宿舎での取り組みが家庭での生活に繋がると良いと思います。 - 課題に対して、具体的なアクションを表すと良い。 - 校務の効率化のためには、予定を減らすことが必要。 - 細かく適切に対応し、改善されているように感じました。
	B	3	
	C		
	D		
5. その他教育課程の実施状況について	A	2	- 先輩から後輩に実習体験を話すプログラムは大変良い。※生徒が生き生きしていた。 - 生徒の個人差がある中で、本人に合った教育課程の対応ができているかと感じました。 ※1名未記入
	B	2	
	C		
	D		

〔評価基準〕 A妥当である Bおおむね妥当である Cあまり妥当でない D妥当でない